

小学 校 低 学 年	テーマ	人とふれあう喜び		
	ねらい	家族との会話やスキンシップの喜びを感じる。		
	指導のポイント	事前	学習・体験	事後
	<p>【感動の体験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族とのふれあいをとおして、自己存在感を感じさせる。 ・家族や親しい人とのふれあい活動をおとして、一緒に向き合って遊ぶ時間の楽しさを実感させる。 <p>【感性を育む】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人のぬくもりやふれあうことの快さと満足感を感じさせる。 ・自然の音や風、気配等を五感で感じさせる。 <p>【想像力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい体験をおとして、互いの存在や生きていることに気づかせる。 ・ノーテレビデーの取組をおとして、身のまわりには様々なことが起こっていることに気づかせる。 ・人と人との関わりの中に、様々な楽しみがあることに気づかせる。 	<p>【先生の準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員自身の幼い頃の話をもとめる。 ・子どものテレビ視聴時間やゲームをする時間、その内容などについてあらかじめ調査しておく。 ・ノーテレビデーの企画をする。 ・子どもの家庭環境等を把握し、事前事後の個別指導を充実させる。 ・家庭との連携の上、学習や体験内容に配慮する。 ・保護者にふれあい体験の協力依頼をする。 <p>【教育課程上の位置づけ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語 ・生活 <p>【子どもたちの準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族とのふれあい体験をする。 <p>【家庭・地域との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ、ビデオ、ゲーム等に費やす時間を減らし、絵本の読み聞かせを依頼する。 ・スキンシップをする時間（背中文字で家族に伝える、肩たたき、一緒にお風呂に入る）を持つよう依頼する。 ・「テレビやゲームについて」のエッセーを募集する。 	<p>小動物とのふれあい</p> <p>ふれあい体験（背中文字、肩たたき等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族とふれあう。 ・友だちとふれあう。 ・先生とふれあう。 <p>絵本の読み聞かせ 心のふれあい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『とんとんとんの子もりうた』（講談社） <p>テレビやゲームのない生活の体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノーテレビデーの設定をする。 ・ノーテレビデーの感想を話し合う。 ・「テレビをみなかった日のこと」のテーマで作文を書く。 ・保護者からのエッセー「テレビやゲームについて」の読み聞かせをする。 	<p>【子どもたちの予想される心の動き】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だっこしてもらうときもちい。 ・テレビがなくてもいっぱいあそべたね。 ・みんなといっぱいあそべたよ。 ・家の中にはいろんな音があるんだ。 <p>【振り返りカードへの記入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習・体験の後に、子どもたちに自分の心の動きを振り返らせ、振り返りカードに記入させる。 <p>【日常生活での実践・家庭との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的にテレビのない日を設定するなどして、言葉による関わり、身体によるふれあいの時間を多く持つようにする。 ・保護者に一日一つ子どものいいところを発見してほめることを依頼する。 ・学習や体験後の子どもたちの変容、感想を学級通信などで連絡する。併せて保護者の感想も掲載する。 <p>【先生の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビのない生活をおとして、人と人との関わりの中に、様々な楽しみがあることに気づかせることができたか。 ・スキンシップの心地よさを感じさせることができたか。